

取扱説明書

AT-MX51 Microphone/Line Mixer



お買い上げありがとうございます。
お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

入力5系統、出力1系統の入出力端子を装備。

入力、出力共にレベル切替用アッテネーター
(MIC/LINE)装備で、マイク/ライン入出力の
切り換えが可能。

接続機器を選びません。

BUS端子によるカスケード接続で簡単に増設、
多チャンネルミキサーが構成可能。

各チャンネル独立で48Vファントム電源を供給。

目次

△ 警告/注意	2
各部の名称と機能 (フロントパネル)	3
各部の名称と機能 (リアパネル)	4
使いかた	4
簡単なセットアップ方法	5
アンバランス機器との接続について	6
ラックマウントについて	6
足(付属品)の取り付けかた	6
レベルダイアグラム	7
ブロックダイアグラム	7
テクニカルデータ	裏表紙
外形寸法図	裏表紙

⚠ 警告

発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などをさけるため下記のことを必ずお守りください。

AC100Vの電源に使用してください。

ジャックに異物を入れないでください。

異常な音、煙、臭いやコードなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの特約店か、当社の特販部プロオーディオ課までお問い合わせください。

電源コードは、無理な力(重いものをのせる、引っ張るなど)を加えないでください。

分解や改造はしないでください。

強い衝撃を与えないでください。

電源コードのアース端子は必ずアースに接続してください。



⚠ 注意

電源プラグの抜き差しは、必ずプラグ部を持って行ってください。



直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。

水がかからないようにしてください。

火気に近づけないでください。

布などでおおわないでください。

長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。

長い間保存するときには、機器をビニールなどで包み、湿気が帯びないようにしてください。

設置上の注意

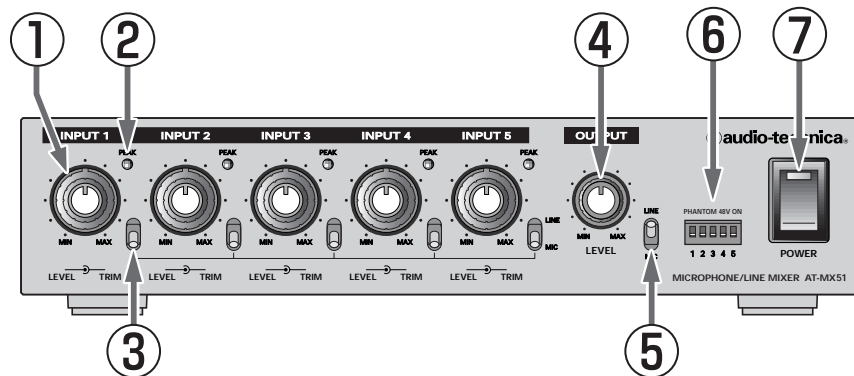
本機はラジオやテレビなどに影響を与える場合があります。
なるべくこれらから離して設置してください。

メンテナンス上の注意

汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
またコンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

各部の名称と機能

フロントパネル



トリム / 入力レベルボリューム

各チャンネルのトリム調整とミキシングレベル調整を行う2軸構造になっています。

外側のボリュームはトリムボリュームで、入力感度の調整を行います。(トリム可変範囲は12～46dBです)

内側のボリュームは入力レベルボリュームで、ミキシングレベルを調整します。

右へ回すとミキシングレベルが大きくなります。

ピークインジケータ

入力アンプ部のクリッピングレベルを表示します。クリッピングレベルの3dB手前で点灯します。連続点灯しない範囲で適度なレベルになるように、のトリム / 入力レベルボリュームを調整します。

入力アッテネータースイッチ

入力レベルを30dB減衰させることができます。スイッチを“LINE”側にする、入力レベルが30dB減衰します。ラインレベル機器など、信号レベルが高くトリムのみでレベル調整できないときに使用します。

入力アッテネーターとのトリムボリュームの組み合わせで適度なレベルに調整してください。

スイッチを“LINE”側にする、本機のファントム電源は使用できません。

注意 出力ボリュームをMINにしてから操作してください。スイッチを操作するときに金属製のドライバーなどは使用しないでください。

出力ボリューム

ミキシング後の出力レベルを調整します。
右に回すと出力レベルが大きくなります。

出力アッテネータースイッチ

スイッチを“MIC”側にする、出力レベルが50dB減衰します。本機の出力端子に接続する機器がマイクレベル入力対応の場合には、スイッチを“MIC”側にしてください。

注意 出力ボリュームをMINにしてから操作してください。スイッチを操作するときに金属製のドライバーなどは使用しないでください。

ファントム電源スイッチ

各入力チャンネルごとに独立してファントム電源(+48V)のオン/オフが設定できます。

ファントム電源が必要なマイク以外の機器を接続するときは、ファントム電源スイッチをオフにしてください。

ラインレベル機器にファントム電源を供給すると、機器に損害を与えることがあります。このため本機では、入力アッテネータースイッチを“LINE”側にする、ファントム電源のスイッチ設定にかかわらずファントム電源は自動的にオフになります。

注意 出力ボリュームをMINにしてから操作してください。スイッチを操作するときに金属製のドライバーなどは使用しないでください。

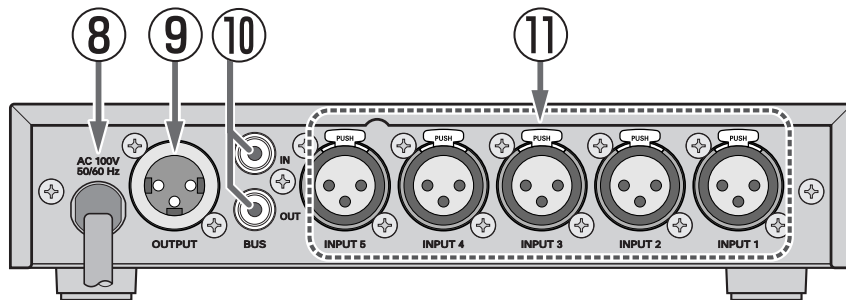
パワースイッチ

スイッチ上部を押すと電源が入ります。

電源がオンの時には、スイッチのインジケータが点灯します。

各部の名称と機能

リアパネル



電源コード

AC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

注意

本機は日本国外では使用できません。

バランス出力端子

バランス入力を備えた機器に直接接続します。

BUS入出力端子

本機を複数台カスケード接続します。

詳しい接続方法は「簡単なセットアップ方法」をご覧ください。

バランス入力端子 INPUT.1 ~ INPUT.5

マイクやAV機器などを接続します。

使いかた

1 本機に接続する機器の電源がオフになっていることを確認してから接続します。
本機のトリム / 入力レベルボリューム、出力レベルボリュームを“ MIN ”の位置にします。

2 パワースイッチがオフになっていることを確かめ、本機の電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

3 ファントム電源が必要なマイクを使用するチャンネルのみ、ファントム電源スイッチをオンにします。

4 パワースイッチをオンにすると、パワースイッチのインジケータが点灯し、動作状態になります。

5 接続している機器の電源スイッチをオンにします。

6 各チャンネルごとにトリムボリュームで入力感度の調整を行います。接続する機器に応じて調整を行ってください。

出力レベルの高いコンデンサー型マイクなどを接続した場合、トリムボリュームは“ MIN ”側に回して調整します。

出力レベルの低いダイナミック型マイクなどを接続した場合、トリムボリュームは“ MAX ”側に回して調整します。

AV機器などラインレベルの機器を接続した場合、入力アッテネータースイッチを“ LINE ”側に入れてからトリムボリュームを調整してください。

使用しないチャンネルのトリム / 入力レベルボリュームは左へ回して“ MIN ”の位置にしてください。

7 ピークインジケータが常に点灯する場合、入力信号が大きすぎて音が歪んでいます。各チャンネルのトリムボリュームを下げて調整してください。

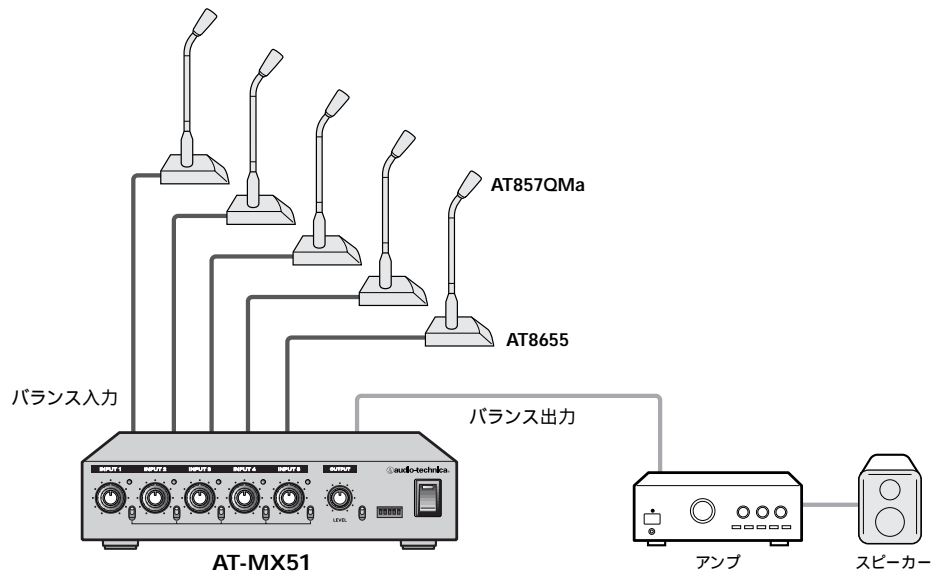
8 各チャンネルに入力されたマイク、またはラインレベル機器からの信号のミキシングレベルを調整します。各チャンネルの入力レベルボリュームを右側に回すとミキシングレベルが大きくなります。

9 出力レベルの調整を行います。出力レベルボリュームを右側に回すと出力レベルが大きくなります。

簡単なセットアップ方法

標準的な接続例

例えば、マイク5本の音声信号をミキシングし、スピーカーでモニターする場合

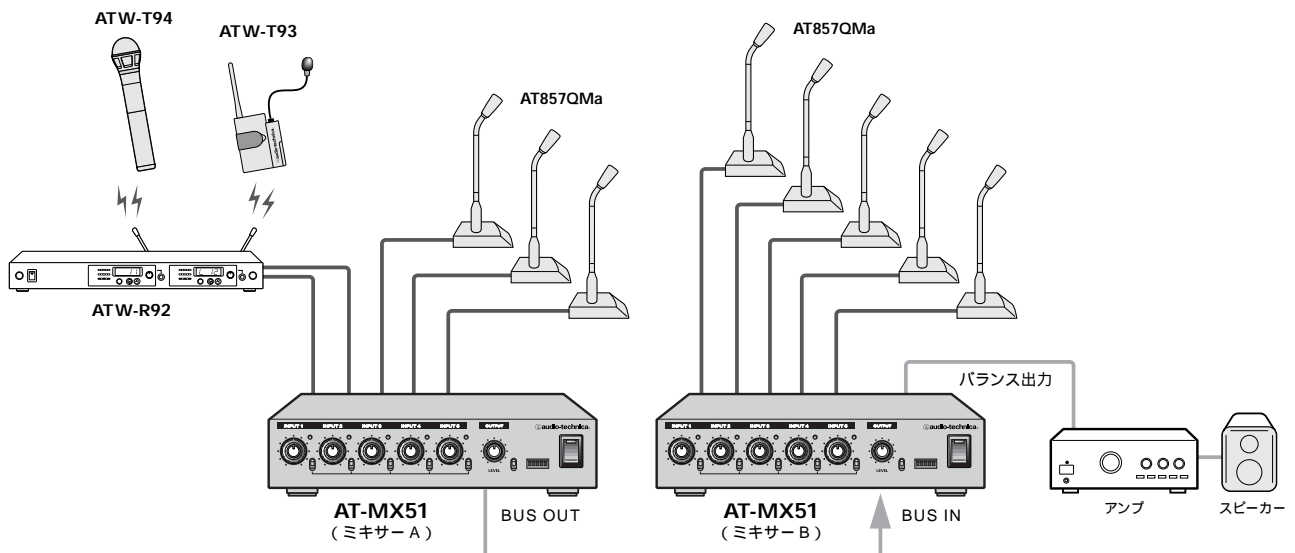


BUS入出力端子を使った接続例

本機を何台かカスケード接続することによって、チャンネルを増やすことができます。

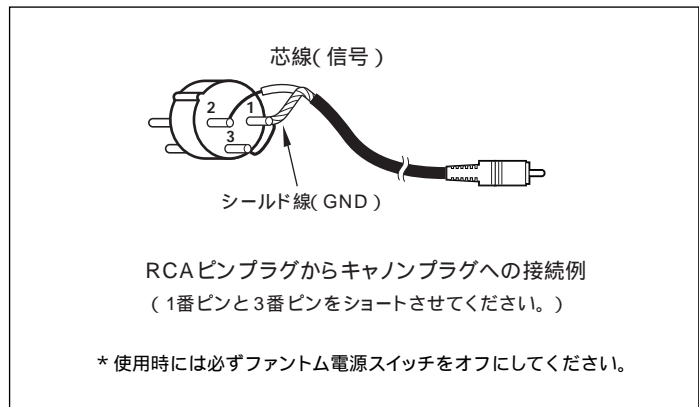
【例】ミキサー-Aとミキサー-Bをカスケード接続して10チャンネルを増やす場合

ミキサー-AのBUS OUTをミキサー-BのBUS INに接続します。
ミキサー-Aを通常の方法で使用し、ミキサー-Aのミキシング後の出力はBUSを經由してミキサー-Bに供給されます。
この結果、ミキサー-Bのバランス出力にはミキサー-AとBの合成信号が出力されます。

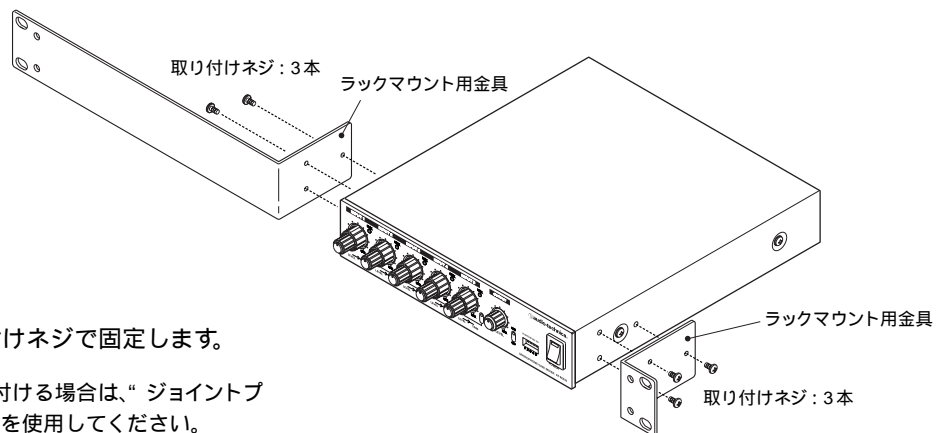


アンバランス機器との接続について

* RCAピンプラグなどによりアンバランス機器と接続する場合には右記のように接続してください。



ラックマウントについて



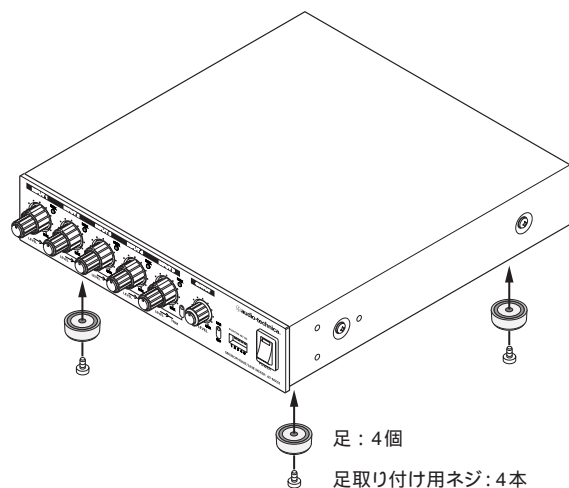
図のように付属の取り付けネジで固定します。

* 本機を2台連結して取り付ける場合は、“ジョイントプレート AT8628(別売)”を使用してください。

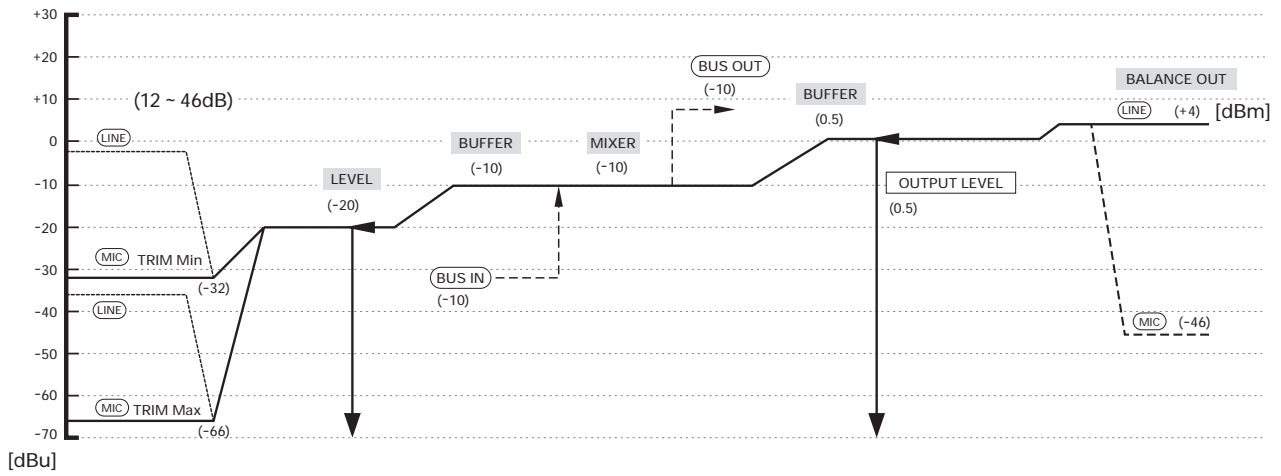
足(付属品)の取り付けかた

本機をラックにマウントしないで使用するときは足(付属品)を取り付けてください。
足はネジ(付属品)で下図のように取り付けます。

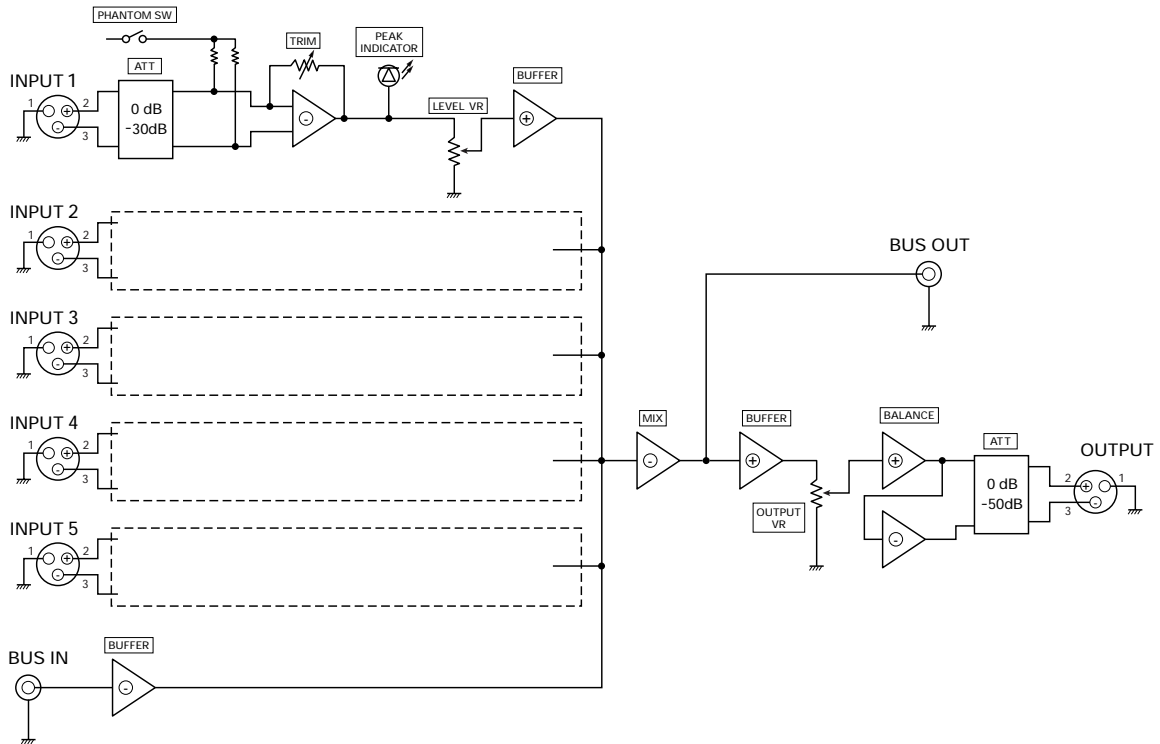
* 必ず付属の「足取り付け用ネジ」を使用してください。



レベルダイアグラム



ブロックダイアグラム

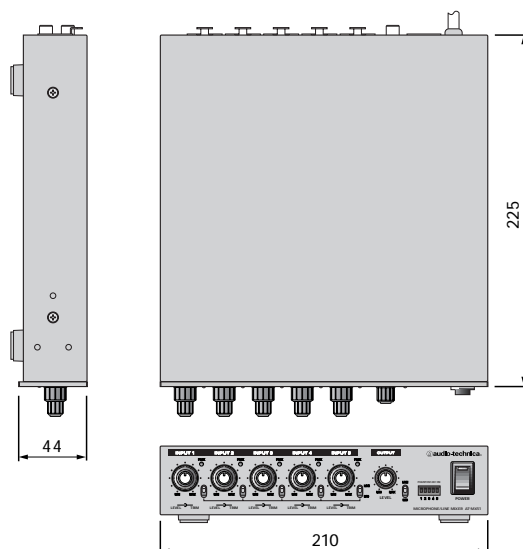


テクニカルデータ (一般仕様)

項目	規格	条件	備考
最大ゲイン	70 dB	1 kHz 出力 600 負荷	入力ATT = MIC側、TRIM MAX
最大入力レベル	MIC	- 35 dBu	1 kHz 出力 T.H.D = 1%時
	LINE	+ 25 dBu	入力ATT = LINE側、TRIM MIN
バランス基準入力レベル	- 66 dBu	出力 = + 4 dBm	
入力インピーダンス	MIC	13 k	入力ATT = MIC側
	LINE	57 k	入力ATT = LINE側
最大出力レベル	+ 15 dBm	1 kHz 出力 T.H.D = 1%時, 600 負荷	出力ATT = LINE側
出力インピーダンス	MIC	160	出力ATT = MIC側
	LINE	200	出力ATT = LINE側
ノイズレベル	- 120 dBu以下	1ch 最大ゲイン時 A-WTD	入力換算雑音、入力端子150 短絡
バランス出力T.H.D	0.1%以下	- 50 dBu@1 kHz, + 4 dBm 出力時, 400 Hz HPF	
周波数特性	20 Hz - 20 kHz	- 3 dB	
TRIM可変範囲	+ 12 dB ~ + 46 dB		入力アンプゲイン
BUS入力	入力インピーダンス	9 k	
	BUS基準入力レベル	- 10 dBu	出力 = + 4 dBm、OUTPUT LEVEL MAX
BUS出力	出力インピーダンス	270	
	BUS基準出力レベル	- 10 dBu	出力 = + 4 dBm、OUTPUT LEVEL MAX
MIC/LINE アッテネーター減衰量	入力側	30 dB	
	出力側	50 dB	
ファントム電源	48 V DC		供給抵抗 6.8 k
電源	100 V AC 50/60 Hz 5 W		日本国内 100 V専用
動作温度範囲	0 - 40	結露なきこと	
外形寸法	W x D x H	210 x 225 x 44 (mm)	突起部含まず
質量		1.7 kg	
付属品	ラックマウント用金具および取り付けネジセット、足および取り付けネジセット 取扱説明書、保証書		

* 0 dBu = 0.775 Vrms (改良などのため予告なく変更することがあります。)

外形寸法図 (単位: mm)



 **audio-technica**[®]
株式会社オーディオテクニカ

製品保証及び修理などにつきましてはお買い上げのお店、または別紙記載の弊社営業所までお問い合わせください。